



My Home Photo Essay

東京都国分寺市

Aさんご家族

担当営業 高橋 貴光



二世帯がお互いを思いやりながら、 一緒に楽しく暮らすための理想形。



Aさん 子育てと老後——お互いの将来を考えて、両親と一緒に住むこと。最初は建売りを探してみたんですけど、二世帯が同居できるような間取りはなかなか難しいようでした。

奥様 昔は二世帯、三世帯と一緒に暮らすのは当たり前だったのにね。

高橋 そこで「土地からオリジナルのお家を建てた方がいいのでは」と。

奥様 土地を探すと同時に工務店と間取りの打ち合わせもしながら。

Aさん 水回りとリビングは公共の場として一カ所に、プライベートが保てる広めの主寝室を二部屋に。

奥様 二世帯分の荷物がすっきりと整理できるような収納は多めにしています。

Aさん 私たち二人とも大学に勤めているので、大量の本を整理、収納できる書斎兼仕事場も必要でした。

奥様 今は育児休暇中ですが、春からまた働き始めたとき、主人のご両親がいると思うと安心できますね。

お母様 孫娘の保育園の送り迎えは嬉しいちゃんの役目ね(笑)。

お父様 家に帰るといつも必ず誰かがいて一緒に食事したり、話したり。毎日がとても充実していますよ。

Aさん お互いを思いやり助け合うことが、あったかくて楽しいんです。

